

令和5年度 第7回深谷市地域公共交通会議 議事録

開催日時： 令和5年12月25日（月）14時00分～15時00分

開催場所： 深谷市役所 3階 大会議室

出席委員： 別紙 出席者名簿 のとおり

（18名） （欠席委員：6名）

欠席委員： 関根委員、高原委員、坂井委員、原島委員、帆足委員、宮原委員

（6名）

傍聴人： 0名

事務局： 吉田事務局長、山中事務局次長

（9名） 【都市計画課】

羽二生課長補佐、増田課長補佐、荒谷市街地整備係長、飯野主査、真下主任

【受託事業者(ランドブレイン株式会社)】

2名出席

議事次第： 別紙参照

配布資料： 別紙参照

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議事項

議案第1号 深谷市地域公共交通計画 計画骨子案について②

◆事務局および本業務の受託業者より資料1の説明

◆質疑

【長原会長】 議案第1号について説明があったが、ご質問・ご意見等はあるか。

【清水委員】 資料1の89ページ目にある将来ネットワークイメージについて、

①将来像と現況が混在している。見出しを「将来ネットワークイメージ」として良いのか。

②北部の路線再編検討の対象は中の家方面とホフマン輪窯方面だと思うが、「ホフマン輪窯」という言葉が記載されていない。将来的には渋沢ルートと新戒ルートを繋ぐのが良いと思っている。「将来」を謳うのであれば図の表現を工夫してほしい。

③図中に「フィーダー」とあるが、分かりやすく表記してほしい。

- 【事務局】** ①②北部シャトル便の路線再編については、ルートや所要時間など総合的に勘案して決定していく。交通会議においても審議いただきたい。それらを考慮して進めていくので、ご理解いただきたい。
- ③「フィーダー」の表記について、分かりやすくなるよう修正する。
- 【田尻委員】** 資料1の89ページ目の将来ネットワークイメージにおいて、北部に路線再編検討エリア、東部に新規路線検討エリアが、それぞれ設定された理由について説明がない。デマンドで運行されているエリアにおいてなぜ定時定路線運行が検討されているのか、説明してほしい。
- 【事務局】** 路線再編検討エリア（北部）については、これまでの利用実績から観光客も利用していることが分かっており、市民利用だけでなく観光要素を持たせて効果的な運行を考え、北部シャトル便のルートの見直しを行いたい。新規路線検討エリア（東部）については地元から強い要望があり、デマンドバスの利用も非常に多いことから市として積極的に検討を始めている。
- 【田尻委員】** 東部の新規路線は籠原駅に乗り入れる想定なのか。深谷観光バスの深谷日赤病院～籠原駅線など既存のバス路線と競合することを危惧している。事業者側と協議をして、民業圧迫とならないよう配慮してほしい。
- 【事務局】** 幡羅地区から要望が毎年出されている。市としては公共交通を提供すべき重要なエリアと捉え、新規路線について前向きに検討している。特に「籠原駅まで運行してほしい」という要望が多い。既存の事業者とも調整しながら進めていく。
- 【高田委員】** 深谷観光バスとしては、JR高崎線を挟んで反対側なので、競合するとはあまり考えていない。
- 【長原会長】** 他にあるか。その他にないようなので、議案第1号について、原案のとおり承認する。
- 本日審議いただく協議事項は以上となるため、進行を事務局に戻す。

4. 閉会